



Tübingen International & European Studies (T-IES)

Doshisha EU Campus European Studies Program

September 1, 2024 – January 31, 2025

Course title:	△現代哲学（2）-801 Contemporary Philosophy (2)-801
Date:	11月18日～11月25日
Language of instruction:	日本語
Lecturer:	中村 拓也
Contact hours:	面接授業 13回およびオンデマンド 2回

COURSE DESCRIPTION

この講義は、ドイツ現代哲学の根本特徴の解明を課題とする。そのため20世紀以降のドイツ哲学の主潮流をなす哲学者たちの主要学説が主な考察の対象となる。その際20世紀以降のドイツ哲学の先駆となり「ドイツ」哲学のもつ「ドイツ的」伝統を構成する要素を規定した哲学者としてカントもまた全体の背景をなす重要な哲学者として取り上げられることになる。

したがって、本講義は、哲学者としては、カント、フッサール、ハイデガー、ガダマーを主題として取り上げる。また、哲学的立場としては、ドイツ哲学の根底を形成する超越論哲学の性格特性を解明したうえで、超越論哲学の継承・発展・批判として現象学、存在論、解釈学、批判理論を取り上げる。

キーワード：ドイツ哲学，超越論哲学，現象学，存在論，解釈学

(Reference information in English) *** Please note this course is conducted in Japanese.**

In this lecture, we will work on to elucidate the fundamental features of contemporary German philosophy. For this reason, the main subject of discussion will be focused on the principal theories of the mainstream of German philosophy since the 20th century.

Kant will be taken up as an important philosopher who forms the background of the whole as the pioneer of German philosophy and as the philosopher who defined the elements constituting the 'German' tradition of 'German' philosophy since the 20th century.

The philosophers discussed in this lecture will be Kant, Husserl, Heidegger, and Gadamer. In terms of philosophical standpoints, the character traits of transcendental philosophy as the foundation of German philosophy, will be clarified. Also, phenomenology, ontology, hermeneutics, and critical theory will be taken up as the inheritance, development, and criticism of transcendental philosophy.

Keywords: German philosophy, transcendental philosophy, phenomenology, ontology, hermeneutics

COURSE SCHEDULE

実施時期/Week	授業回/Number of Lesson 内容/Contents 授業計画外の学習 /Assignments	授業実施方法/How to Conduct a Lesson	授業実施時間数/Class Hours
第1週 D0 Week	イントロダクション 授業内容を踏まえた上での 予習	1 オンデマンド（動画視 聴）/On-demand(watching video)	90 分/min.
第2週	ドイツの伝統（1） カン トとドイツ観念論 授業内容を踏まえた上での 復習	2 面接/Face-to-face	90 分/min.
第3週	ドイツの伝統（2） 世紀 転換期のドイツ哲学 授業内容を踏まえた上での 復習	3 面接/Face-to-face	90 分/min.
第4週	フッサールの現象学（1） 意識の本質記述 授業内容を踏まえた上での 復習	4 面接/Face-to-face	90 分/min.
第5週	フッサールの現象学（2） 超越論的現象学 授業内容を踏まえた上での 復習	5 面接/Face-to-face	90 分/min.
第6週	フッサールの現象学（3） 相互主観性 授業内容を踏まえた上での 復習	6 面接/Face-to-face	90 分/min.
第7週	フッサールの現象学（4） 生世界 授業内容を踏まえた上での 復習	7 面接/Face-to-face	90 分/min.
第8週	ハイデガー 基礎存在論 （1） 『存在と時間』 授業内容を踏まえた上での 復習	8 面接/Face-to-face	90 分/min.
第9週	ハイデガー 基礎存在論 （2） 現存在分析 授業内容を踏まえた上での 復習	9 面接/Face-to-face	90 分/min.
第10週	ハイデガー 存在の歴史 （1） 藝術と真理 授業内容を踏まえた上での 復習	10 面接/Face-to-face	90 分/min.
第11週	ハイデガー 存在の歴史 （2） 形而上学の克服 授業内容を踏まえた上での 復習	11 面接/Face-to-face	90 分/min.
第12週	ガダマー 哲学的解釈学 （1） 『真理と方法』 授業内容を踏まえた上での 復習	12 面接/Face-to-face	90 分/min.
第13週	ガダマー 哲学的解釈学 （2） 解釈学の変貌	13 面接/Face-to-face	90 分/min.

	授業内容を踏まえた上での復習		
第14 週	講義内容全体の確認（記述式）と講評 講義内容全体のまとめ	14 面接/Face-to-face	90 分/min.
授業期間終了後/	まとめと講評 講義全体の振り返り	15 オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	90 分/min.

受講生と相談の上、授業計画を変更する可能性がある。

LEARNING OBJECTIVES

学生は、現代ドイツ哲学が主題とする様々な問題に対する哲学的考察に取り組むことを通じて、ドイツ現代哲学の根本特徴について知ることができるようになる。

PREREQUISITES

とくになし

COURSE REQUIREMENTS & GRADING

平常点 40%

講義内容をまとめた資料

多面的評価（記述式） 60%

講義の内容についての論述テスト

平常点：出席と講義の内容の理解度を示す資料の内容によって評価

多面的評価（記述式）：講義で扱った主題についての理解の正確さによって評価

READING (REQUIRED)

なし。特定のテキストは使用しない。講義の際に、当該の講義に関連する一次文献と二次文献を紹介する。

INFORMATION ON THE LECTURER

<https://researchmap.jp/7000009806?lang=ja>

OTHER INFORMATION

2024 年度ヨーロッパ・スタディーズ EU キャンパスプログラム参加学生のみ、登録可能

科目担当者との連絡方法：e-class で行う。